allcinema

さくら隊散る（1988）

メディア 映画
ジャンル ドラマ　ドキュメンタリー　戦争
製作国　日本
色彩　Color
時間　112分
初公開日 1988/04/30
公開情報 独立映画センター

【解説】
昭和20年８月６日、広島で原爆のため命を落とした移動演劇隊“櫻隊”の９人の演劇人の足跡を再現ドラマとゆかりの人々の証言で描くドキュメンタリー。江津萩枝のルポルタージュを「原爆の子」「第五福竜丸」の新藤兼人監督が映画化。櫻隊の前身は昭和17年に誕生した苦楽座で、20年に櫻隊と改名し、演劇活動を続けていた。そして、８月６日、櫻隊は滞在先の広島で原爆の被害に遭遇した。

【クレジット】

監督	新藤兼人	
製作	日高宗敏	
	高島道吉	
企画	能登節雄	
	池田庄二	
プロデューサー	溝上潔	
	新藤治郎	
原作	江津萩枝	『櫻隊全滅』
脚本	新藤兼人	
撮影	三宅義行	
美術	重田重盛	
編集	近藤光雄	
音楽	林光	
助監督	金高謙二	
出演	古田将士	
	未来貴子	
	八神康子	
	川道信介	
	滝沢修	
	小沢栄太郎	
	宇野重吉	
	川島聡互	
	殿山泰司	
	長門裕之	
	杉村春子	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.